

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	24-094	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Positive association of large alcohol intake per occasion with vision-threatening severe diabetic retinopathy or diabetic macular edema in Japanese men with type 2 diabetes 日本人 2 型糖尿病男性における、1 回あたり大量アルコール摂取と重症糖尿病網膜症または糖尿病黄斑浮腫との正の関連		
<b>執筆者</b>		
Yamamoto M, Fujihara K, Hasebe H, Yaguchi Y, Yamada T, Kodama S et al.		
<b>掲載誌</b>		
Prev Med. 2025 Feb;191:108220. doi: 10.1016/j.ypmed.2025.108220.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
飲酒パターン；糖尿病黄斑浮腫；糖尿病網膜症；後ろ向きコホート研究	39761921	
<b>要 旨</b>		
<p><b>背景：</b>アルコールの総摂取量とは異なり、1 回の飲酒機会あたりの多量飲酒が重症糖尿病網膜症の発症リスク上昇と関連するか否かは不明である。</p> <p><b>方法：</b>本研究は、全国健康保険組合の請求データベースを用いて解析を行った。飲酒習慣はベースライン時の質問票により調査し、1 回あたりの摂取量と飲酒頻度から総アルコール摂取量 (g エタノール/週) を算出した。摂取量は少量 (100g 未満)、中等量 (100~300g)、多量 (300g 超) の 3 群に分類した。飲酒頻度は「なしまたは週 1 回以下」、「週 2~4 回」、「週 5 回以上」の 3 段階とし、さらに 1 回あたりの摂取量は「1 杯未満」、「1~2 杯未満」、「2~3 杯未満」、「3 杯以上」に区分した (1 杯=日本酒 1 合、エタノール 23g 相当)。飲酒機会あたりの摂取量 (quantity per drinking occasion: QPO)、特に多量 QPO、および飲酒頻度 (frequency of alcohol consumption: FAC) と QPO の組み合わせと、重症糖尿病網膜症または糖尿病黄斑浮腫 (diabetic macular edema: DME) との関連は、多変量 Cox モデルを用いて検討した。重症糖尿病網膜症または DME は、治療を要する糖尿病眼疾患 (treatment-required diabetic eye disease: TRDED) として定義した。追跡開始日は 2008 年 4 月から 2016 年 8 月までの登録期間中における各 2 型糖尿病男性の最初の検診日とした。</p> <p><b>結果：</b>日本人 2 型糖尿病男性 21,392 人 (22~74 歳) の平均 4.3 年間の追跡期間中に、425 例の TRDED が確認された (4.6/1,000 人・年)。多変量 Cox 解析において、1 回あたり 3 杯以上の多量 QPO は、低頻度群 (ハザード比[HR] 4.76、95%信頼区間[CI] 2.06-10.97)、中頻度群 (HR 1.58、95%CI 1.001-2.50)、高頻度群 (HR 2.01、95%CI 1.20-3.36) において、TRDED リスクの有意な上昇と関連していた。</p> <p><b>結論：</b>総エタノール摂取量に加え、重症糖尿病網膜症または DME の予防には、1 回の飲酒機会における多量飲酒を避ける必要があることが示唆される。</p>		